

教科(科目)	芸術(音楽Ⅰ)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	教育出版『音楽Ⅰ Tutti+』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。 ○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。 ○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。 ○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。 ○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。 ○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。 ○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。

2 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

- (1) 音楽の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、歌唱・楽器演奏能力の向上を図り、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽のよさや美しさを感じ、自己評価して鑑賞し、音楽表現を工夫できるようにする。
- (3) 主体的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、心豊かな生活や社会をより良いものにしていく態度を養う。

3 指導の重点

- ・音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりなど音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かして音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- ・主体的・協調的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ受している。知覚したことと感受したことの関わりについて考え、表現意図をもっている。	表現及び鑑賞の学習活動に主体的・協調的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・筆記テストの分析 ・実技テストの分析 ・レポートやワークシート、ノートなど提出物の内容確認などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・論述課題の分析 ・演奏発表の取り組みの観察 ・レポートやワークシート、ノートなど提出物の内容確認などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や態度の観察、特に粘り強い取り組みで自らを向上させようとしているか、を重視 ・自己評価シートの内容の確認 ・ノートの記述内容の確認などから評価します。

法	内容のまとまりごとに、各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。
---	---

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	オリエンテーション 校歌の理解と歌唱 イメージをもつて歌う	ふるさと校歌 他 夏の思い出 他	・日本語の歌を歌う。 ・校歌を歌い、ノートに書いて歌詞を覚える。 ・歌詞の意味を考えて歌う ・曲想と歌詞の関連について考える。 ・Review of Basics①②を学習し、「あなたにとって音楽とは」を 200 字程度で記述する。	4	記述課題 ノート提出 実技テスト
5	日本歌曲を歌う	浜辺の歌 他	・日本語の抑揚や間、語感、歌詞としが、旋律の流れやフレーズにどのように表されているかを考える。 ・自分のイメージで、表現を工夫する。 ・日本語の言葉の特性に関心をもつ。	6	プリント課題 実技テスト
6	楽典①	楽譜の約束	・中学までの知識の復習を行い、高校の授業に必要な内容を身につける。	4	筆記テスト
6	リコーダー・アンサンブル	いつも何度でも 他	・リコーダー奏法の基礎を確認、身につける。 ・課題曲の練習により、演奏技術を身につける。個別指導（レッスン）。	8	実技テスト ノート提出
7	リズムの基礎練習と合奏	リズムの基礎 野菜の気持ち	・基礎的なリズムの理解と表現を身につける。 ・課題曲の練習と個別レッスン ・グループごとに合奏曲の練習とレッスン。	8	実技テスト
8	外国語の歌を歌う	イタリア語、ドイツ語の歌曲、プリント	・サンタルチアの発音 ・野ばらの発音 ・野ばらについて、詩と音楽の考察 ・歌曲の歴史をたどる ・歌唱の個別レッスン	4	記述課題 実技テスト
9	ギター弾き語り	翼をください	・ギターの基礎的な奏法を身につける。練習と個別レッスン。 ・弾き語りのための練習。練習と個別レッスン。	8	記述課題 実技テスト
10	楽典②	コードネーム	・コードネームの内容の理解	6	実技テスト

11	リズムによるアン サンプル	合奏曲	・リズム表現に関する事項を身に付け、歌 唱や器楽で表す。 練習とグループごとにレッスン。	8	記述課題 実技テスト
12	音楽史と鑑賞	ロマン派まで の音楽 未定	・さまざまな時代の楽曲を鑑賞し、音楽の 特徴と文化的・歴史的背景について理解す る。 ・総合芸術における物語と音楽の関わりを 理解する。	2	記述課題、ノート提出
1	合奏 リコーダー・ギタ ー・キーボードに よる	1年間で学習 した教材	・合奏表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項 について理解する。 ・技能に関する事項を身に付け、歌唱や器 楽、創作で表す。 ・グループごとにレッスン。	8	記述課題 筆記テスト 実技テスト
2	楽典③調性と移調	調性 移調	・調性の「知識」に関する諸事項について理 解する。 ・指定の調へ確実に移調する。	2	筆記テスト
3	まとめ			2	

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・いくつかの単元をまとめて、筆記テストを行う。
- ・筆記テストの後で、ノートを提出する。
- ・歌唱と器楽については、単元ごとに実技テストを行う。

8 担当者からの一言

音楽Ⅰの授業では、歌唱・器楽を中心にしながら毎時間複数の領域を扱います。音楽のすばらしさを味わいながら、基礎的な理論を理解し、さまざまな音楽表現を行います。歌唱では独唱のほかにも重唱・合唱を、器楽ではリコーダー・ギター・キーボード演奏を行う予定です。音楽の発展に貢献してきた先人たちの努力・工夫に対して常に敬意を払い、現在音楽を楽しむことができている幸せを実感し、今後の音楽のあり方についても一緒に考えてみましょう。わかりやすい授業を心がけるので、授業中は私語を慎み、集中して取り組んでください。

(担当 : 荒木 零央)